

まちづくり交付金 事後評価シート
油津地区

平成21年12月

宮崎県日南市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県		市町村名	日南市		地区名	油津地区			面積	772ha				
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,232百万円		国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名												
		基幹事業	道路(海田天福線)公園(なかよし公園)高質空間形成施設(岩崎乙姫線、里道①、②)												
		提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくり事業PRに関する手法検討)												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		高質空間形成施設(里道③)		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	なし				-		-						
		新たに追加した事業	基幹事業	・道路(平野線、上町中通線) ・公園(和田街区公園) ・地域生活基盤施設(観光案内板) ・高質空間形成施設(西町材木町線、春日堀川筋線、園田堀川筋線、上町中通線、上町仮屋線、市場通線、上町堀川筋線、春日西町線の8路線のグレードアップ(舗装))		・東九州自動車道日南ICから油津地区への来訪者のアクセス性の向上及び油津港から工業地域への搬送車両の運搬経路を街なかから回避させることにより渋滞緩和する必要があるため ・和田街区公園の災害防除のため ・観光案内板の設置により来訪者が容易に観光施設を訪問できるようにするため ・潤いと安らぎのある美しい景観の町並み空間形成のため		社会基盤整備に対する満足度及び地区内への来訪者数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。							
	提案事業		・地域創造支援事業(油津赤レンガ館耐震改修事業、景観形成推進事業、下水道整備事業、観光資源環境整備事業) ・事業活用調査(事業効果分析調査)		・歴史的資産を活かしたまちづくりを一体的に進める必要があるため ・まちづくりの目標達成度の検証を目的とした調査が必要であるため		社会基盤整備に対する満足度及び地区内への来訪者数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。								
交付期間の変更	当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
変更	なし														
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	指標1	地区内への来訪者数 ※評価指標の()内はJR油津駅の乗客数のみの値	人	19,000	H16	29,000	H21	モニタリング	評価値	(26,900)	△	あり なし	観光案内所が無人数化されて従前値と同様の計測をすることができなかったが、事業実施により街路を中心とした社会基盤が充実したため、JR油津駅の乗客数や主要商業施設の客数は増加し、事業実施効果はみとめられた。	平成23年7月	
		指標2	社会基盤整備に対する満足度指数	満足度指数	3	H16	4	H21	モニタリング	評価値	3	△	あり なし	道路や公園の整備により、住民・来訪者の利便性が高まったが、平野線の整備等完了していない事業もあり、数値目標の達成ができなかった。	平成23年度内
		指標3	キャンプ時の観覧者数	人	16,000	H16	19,000	H21	モニタリング	評価値	27,600	○	あり なし	海田天福線の整備により天福球場への通行の利便性が高まり、数値目標が達成された。	平成23年7月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	その他の数値指標1	JR油津駅の乗客数	人	24,820	H16			モニタリング	評価値	26,900		道路などの整備により、来訪者の利便性が高まり、来訪者の減少に歯止めがかり、JR日南駅や鉄肥駅と違い、乗車人数が増加した。	平成23年7月		
	その他の数値指標2	主要商業施設の客数	人	572,000	H16			モニタリング	評価値	621,000		まちづくり交付金事業や堀川周辺の広場整備などの実施による社会基盤の充実やイベントの開催により、地区内人口は減少しているものの、主要商業施設の客数が増加した。	平成23年7月		
	その他の数値指標3	社会整備基盤に対する満足度指数(加重平均)	pt	5.40	H16			モニタリング	評価値	5.53		道路や公園が整備されたことにより、満足度の平均値が増加した。	平成23年度内		
・街路の整備などが行われたことにより、油津地区を散策している人が増えていてと地元の人が感じている。 ・事業が実施された堀川運河周辺が舞台となったドラマや情報番組などテレビ番組が制作され、その効果により来訪者が増加した。 ・事業の実施により、地区内の回遊性が高まり、地区外からの来訪者が増えたり、市民団体等の活動が活発化した。 ・事業の実施により、まちへの関心が高まり、それを保つために油津地区で掃除を行う人が増加した。															
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-					都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	次期計画において、市とまちづくり団体等が協働して、事業成果について評価や事業の進め方の改善などを行うためのアンケート調査などを予定する。			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	油津地区デザイン会議 事前会議:宮大ワーキング(年1回)、東京ワーキング(年1回) デザイン本会議は年1～2回(不定期)市内で開催され、テーマは「歴史的建造物に調和した町並みを形成する」で開催している。これにより、市民との意見交換機会が増加し、まちのデザインの統一が促進された。					都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	より多くの市民(意見)が中に入った会議を実施し、今後のまちづくりにおけるデザインコントロールの場、監視の場として継続を図る。			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築	「九州風景街道(シーニックバイウェイ)」の行政協議会・民間協議会を通じて体制を強化した。					都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	住民の活動に対し、市として今後も支援を行っていく。				
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

